

2019年度 大型機械工具の保有・更新状況

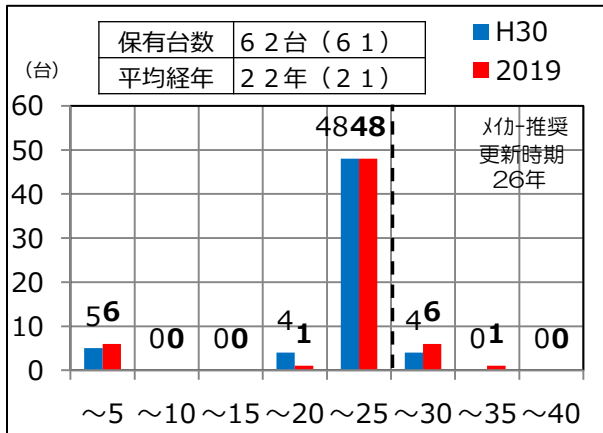
1. 保有実態と更新計画調査

調査対象機種：大型機械（①ジブクレーン ②クライミングクレーン ③シューチェーン延線車）

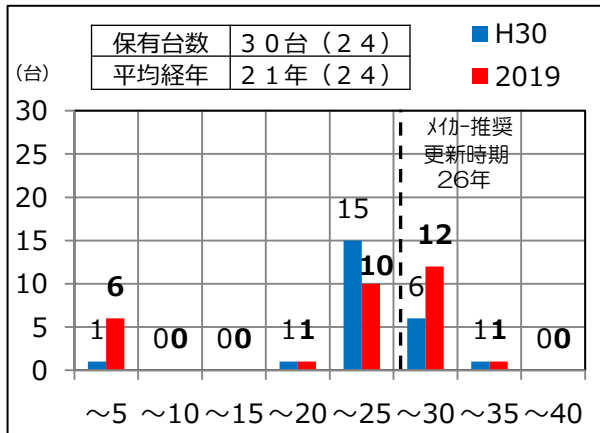
調査対象会社：関西地区で大型機械工具を保有している会社（主要 8 社）

2. 保有台数と経年分布

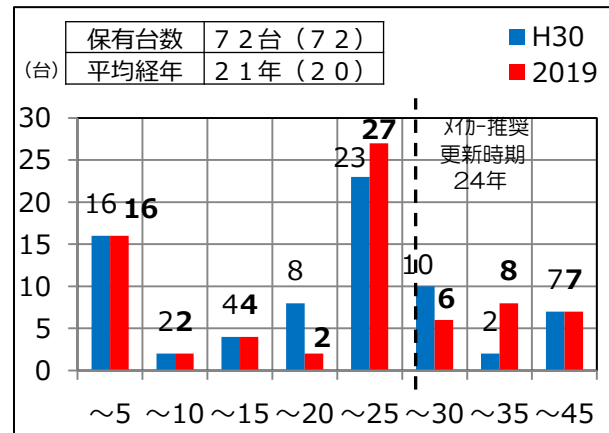
①ジブクレーン



②クライミングクレーン

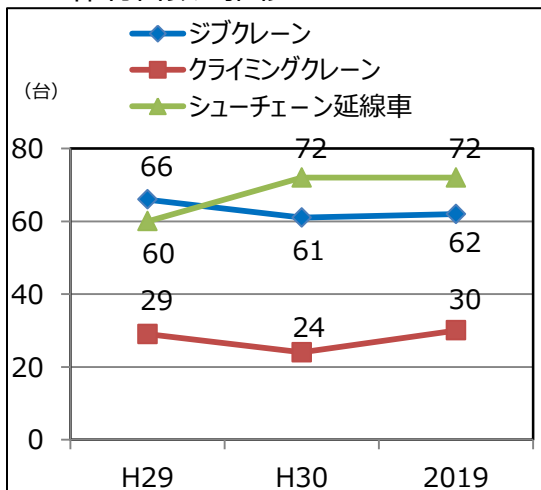


③シューチェーン延線車



・基幹系および中～大規模の改良工事の稼働・予報により、機械工具への設備投資(新規購入およびオーバーホール)が順調に進んでいる。
 ・懸案であったクライミングクレーンも新規製作会社が確保できて順次、現場配備されている。なお、シューチェーン延線車も入荷待ちの状況である

3. 保有台数の推移



4. 機械工具の新規配備状況

大型機械工具	2019年以降計画		2019実績		2020年以降計画	
品名	計画	(社数)	実績	(社数)	計画	(社数)
ジブクレーン	11	(5)	2	(2)	12	(4)
クライミングクレーン	6	(4)	5	(3)	4	(2)
シューチェーン延線車	3	(2)	0		7	(4)
その他機械工具	2019年以降計画		2019実績		2020年以降計画	
品名	計画	(社数)	実績	(社数)	計画	(社数)
緊線ウインチ(自走式)	18	(4)	13	(3)	12	(4)
リールワインダ(電動型)	8	(2)	4	(1)	4	(1)
油圧ドラム架台	0		0		0	
架線ウインチ	1	(1)	1	(1)	1	(1)
解体式バックフォー	1	(1)	1	(1)	0	

大型機械工具は、機種は異なるものの、ほぼ計画通り7台の配備が進んだ。さらに、2020年度以降も戦略的な計画が立てられている(ただし、特殊品かつ受注生産品であり、製作機械メーカーが限定されることから、新規およびオーバーホール共に納入に期間がかかっている)

その他機械工具についても、緊線ウインチやリールワインダを軸として、計画を上回る勢いで配備が進んでいる